


学生団体から学んだ 社会変化の導き方

水島 滉大

私が15分いただいで 皆さんにお伝えしたいこと

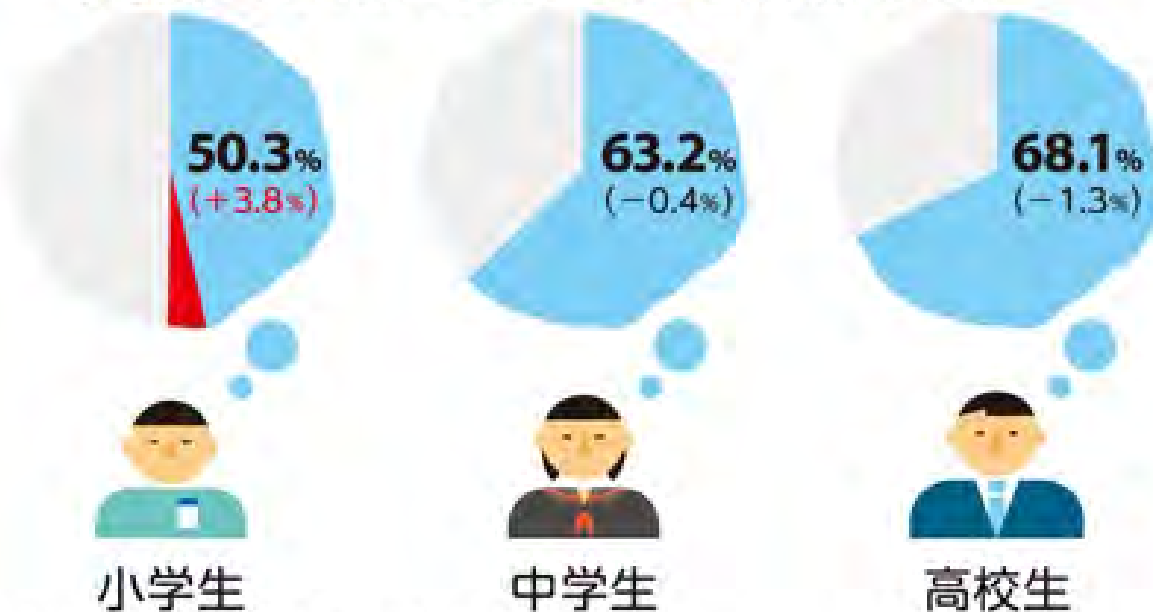
- **私は誰で、なぜ、活動しているのか**
- **社会を変える戦略**
- **社会の変化（まだ途中だけれど）**



私は誰で、なぜ、
活動しているのか

問題意識

時間のすごし方 (時間をむだに使っていると感じる)



第2回 放課後の生活時間調査
—子どもたちの時間の使い方
(Benesse 2013)

「忙しい」と感じる



小学生



中学生

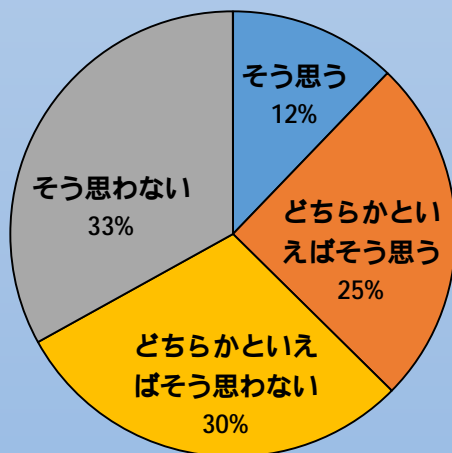


高校生

第2回 放課後の生活時間調査
—子どもたちの時間の使い方
(Benesse 2013)

「社会は自分の力で 変えられると思いますか？」

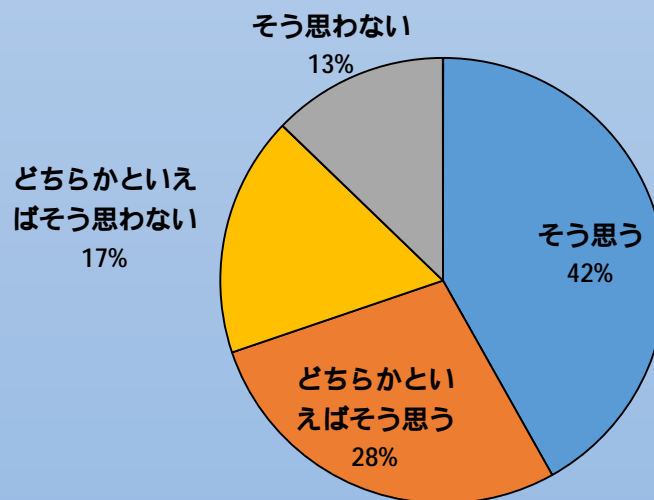
・静岡 10代



・ **そう思う** . . . **37%**

・ N=115

・ストックホルム 10代

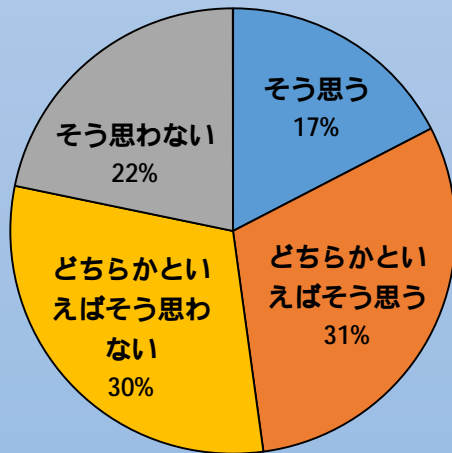


・ **そう思う** . . . **70%**

・ N=86

「あなたは自分のことを価値のある人間だと思いますか？」

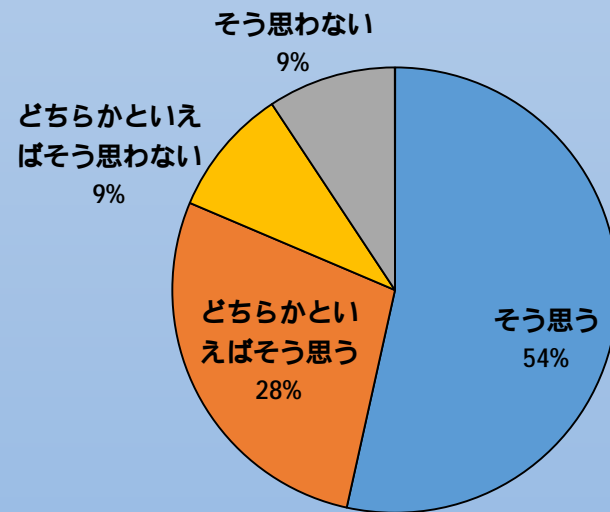
• 静岡 10代



• そう思う・・・48%

• N=115

• ストックホルム 10代



• そう思う・・・82%

• N=86

理想

「自分は社会の一員」
「自分は社会を良くできる」
「まずはやってみよう」



**違和感
疑問
寂しさ**

「自分には何もできない」
「社会は誰かがつくるもの」
無関心

現実

YEC：若者エンパワメント委員会

事業体として

- ・「すべての若者が思いを形にすることを通じて、社会のつくり手となるために」のミッションのもと、若者支援活動<ユースワーク>を行なっています。
- ・「もうひとつの放課後探しプロジェクト」
- ・講演会やワークショップの実施
- ・オリジナルの社会の教科書づくり

YEC -Youth Empowerment Committee-

わかもののまち・静岡実行委員会

運動体として

- ・ドイツやスウェーデンの若者政策を参考に、すべての若者に優しいまちをつくることを目的として、若者活動の中間支援やロビー活動をしています。
- ・中高大学生による委員会のオーガナイズ
- ・若者参画のまちづくりの政策提言
- ・ユースセンターの運営 / ロビー活動



ユースワークとは

- 子どもから大人へと移行していくプロセスを社会全体で支援していくこと
 - 社会とかかわる機会や意思決定する機会をつくる
 - 若者をエンパワメントする
 - ただし、若者は単なる支援の対象ではなく、共に社会を再創造していく主体である
- 子ども・若者支援のピラミッド
 - ターゲット型ではなく、ユニバーサル型であること


参画

自主企画

居場所

なぜ若者が社会に参画する必要があるのか

- 権利があるから
 - その環境や機会が整っていないことが問題
- 持続可能な社会をつくるため
 - 次の社会を担う若者を社会全体で育む
 - ただし、「若者は今も社会を構成する一人である」
- 人口流出や地方創生への可能性
 - 若者が住みたい街を自ら参画してつくることで街への愛着や市民性が育まれ、まちの主体となる



社会を変える戦略

資源

YEC
ユースワークの
ノウハウ

30余の活発な
静岡の学生団体

外部評議員
(各分野の有識者)

短期目標：静岡市・焼津市で機運が高まっている

ユースカウンスル<若者会議>の発足

ユースセンターの設置

中期目標：静岡市と焼津市に若者参画の条例が若者参画によって制定されている

客観的指標(財政規模や運営実績)


若者活動による市や市議会への圧力

長期目標：静岡県のすべての市町村に
若者参画の条例が若者参画によって制定されている

ユースカウンスル

- **イメージ：まち単位の生徒会あるいは部活動**
 - ルンド市には9つの委員会；「環境」「文化」「国際交流」「社会的な楽しみと安全」等...
- **若者の興味・関心から始まることが重要**
 - 「若者は若者なりの考えや意見を持っている」
 - 民主主義を体感できる仕組みを設計する必要がある





社会の変化 (まだ途中だけれど)



高校生による企画に70人の参加者



マニフェスト大賞優秀賞受賞

市長への提言の報道

「わかものまのまち・静岡」実行委員会の主な提言

- ▽静岡市の若者によるまちづくりの母体となる「若者会議」の発足
- ▽地域活動拠点や活動をアドバイスするユースコーディネーターの設置
- ▽若者の意見を地域や行政に取り入れるためのフォーラムの実施
- ▽持続的な若者参画のまちづくりや若者支援を目指す条例策定
- ▽市青少年問題協議会への若者委員の参画の義務付け

静岡市内の大学生やかものまち・静岡高校生で構成する「わかものまのまち・静岡」実行委員会は21日、人

若者参画するまちづくりを

「会議」発足目指す



まちづくりに若者が参画する制度などを提案した実行委員会メンバー
21日午前、静岡市役所静岡庁舎

大学生ら静岡市長に提言書

口減少の課題に対応するためには、若者の参画を推進する「若者会議」の設置や市の協議会の委員の参画を義務付けることなど、若者の意見を行政に取り入れるためのフォーラムの実施や、若者支援を目指す条例策定を目指すことなど、若者委員の参画の義務付けを提案した。

田辺市長は「現状に満足せず、もっと良くなりたい」とエネルギッシュな活動につなげて

4人のメンバーが市役所静岡庁舎を訪れ、提言を説明した。鈴木杏佳さん(18)「静岡農業高3年」は「これからも静岡に住みたい」という思いを、若者自身も参画したい」と意欲を述べた。

議やコーディネーターの必要性を指摘した。若者の意見を市政に反映させるフォーラムの実施や、若者支援を目指すことなど、若者委員の参画の義務付けを提案した。



■重点事業②：「わかもののまち」推進事業

市内大学生を中心とした自主的な地域活動や社会貢献活動が盛んである本市の特徴を活かし、若者が住んでみたい、住み続けたいと思うまちづくりを進める。

平成 27 年度に提言された「わかもののまち静岡」提言書を踏まえ、大学生や中高生などの若者による自主的な地域活動等への支援や、まちづくりへ若者の参画を充実するための方策を検討し、必要に応じて実施する。

また、本市に愛着を持ち、地域社会を担う人材の育成を行うとともに、「わかもののまち」に向けた取組を、首都圏、中京圏等の中高生、大学生などに情報発信し、多くの若者の市内定着を図る。

【工程及び役割分担】

事業等	役割分担							2015	2016	2017	2018	2019
	市	民	産	学	金	労	言					
若者の参画方策の検討・実施	○	○		○				検討 →	検討結果に応じて実施 -----→			
全国の若者への情報発信	○	○		○			○	企画・準備 →	実施 →			

今後求められる戦略

- 「わかものまち」の社会の認知度向上
 - 「若者にやさしいまちが社会の持続的な発展に必要である」ということを広めていく
- 一部の若者ではなく、すべての若者が参画することができるような広いはたらきかけ
 - 民主主義の原則に準じた動きをしていく必要がある
- 資金や人材などの経営資源の獲得
 - 6月にNPO法人化、仲間や賛助会員の募集